

報 雜

◎人 事

九州帝國大學教授	庄 司 義 治	(八月十五日)
滿洲國へ出張ヲ命ス		
岡山醫科大學教授	石 山 福 二 郎	(八月二十三日)
賜本俸三級俸		
陸軍衛生軍曹	菅 波 孝 雄	
陸軍衛生軍曹	和 田 雅 之	
陸軍衛生軍曹	杉 山 五 郎	
陸軍衛生軍曹	山 本 幹 爾	
陸軍衛生軍曹	三 宅 義 夫	
任陸軍軍醫少尉		(八月二十五日)
	山 下 滿	
	西 井 弘 之	
	田 隅 克 巳	
	川 崎 敏 男	
	小 坂 澄 治	
	宮 木 輝 夫	
	原 田 忠	
	吉 田 道 孝	
敘正八位		(六月十五日)
岡山醫科大學助教授	橋 本 清	(九月一日)
陸軍高等官六等		
岡山醫科大學助教授	池 上 馨 一	(九月十三日)
年俸金六百圓加賜		
鐵道醫	檀 上 順 三	(九月十五日)
鐵道醫ニ任ス		
奏任官ヲ以テ待遇セラル		
岡山醫科大學教授	清 水 多 榮	(九月十五日)
滿洲國及中華民國へ出張ヲ命ス		
鐵道醫	檀 上 順 三	
年俸二千百圓下賜		
札幌鐵道局勤務ヲ命ス		(九月十五日)
陸軍衛生軍曹	倉 内 勇 吉	
任陸軍軍醫少尉		(九月二十三日)

○小野英夫君 豫て岡山醫科大學衛生教室に於て
 研究中の同君は先般青森縣八戸市三八城病院産婦
 人科に勤務せられたり

○矢島 壽君 豫て岡山市立市民病院天瀬診療所
 に勤務し居られし同君は今般兵庫縣立加古川懷仁

病院に轉勤せられたり

○木口浩三君 は今般別項の大塚蕃君の後任とし
 て岡山市立半田療養所長に就任せられたり

○小川 壽君 は今般新設の山口縣西市町西市保
 健所長に就任せられたり

○大塚 蕃君 多年岡山市立半田療養所長に就任
 し居られし同君は今般其職を辭し岡山縣小田郡笠
 岡町に於て開業せられたり

◎學位授與

織田元一郎、友保誠、東貞雄の3君は豫て論文を
 岡山醫科大學に提出し學位を請求し居られしが本
 年7月20日の教授會を通過し9月12日附にて執
 れも醫學博士の學位を授與せられたり其主論文及
 び參考論文は次の如し

織 田 元 一 郎 君

主 論 文

上皮小體移植ニ關スル實驗的研究

其1. 家兎上皮小體自家移植ニ關スル實驗的研
 究 (追テ日本外科學會雜誌ニ發表ノ豫定)

其2. 家兎上皮小體同種移植ニ關スル實驗的研
 究 (追テ日本外科學會雜誌ニ發表ノ豫定)

其3. 家兎上皮小體同種移植ト赤血球凝集反應
 トノ關係ニ就テ (追テ日本外科學會雜誌ニ發
 表ノ豫定)

其4. 家兎上皮小體同種移植時ニ於ケル骨折ノ
 意義 (追テ日本外科學會雜誌ニ發表ノ豫定)

其5. 家兎上皮小體移植ト甲状腺トノ關係ニ就
 テ (追テ日本外科學會雜誌ニ發表ノ豫定)

其6. 上皮小體同種移植ノ同種臟器ニ對スル特
 殊成長促進作用檢討 (追テ日本外科學會雜誌
 ニ發表ノ豫定)

參 考 論 文

其1. 膽石ニ依ル腸閉塞ノ1例 (東京醫事新誌
 第2939號ニ發表セリ)

其2. 「ミエログラフィー」診斷ニ由ル小兒麻痺
 ノ外科的經驗例追加 (日本整形外科學會雜誌
 第11卷第5號ニ發表セリ)

其3. 慢性骨髓性白血病ニ於ケル效果アリシ別
 脾ノ1例ニ就テ (東京醫事新誌第2956號ニ

発表セリ)

- 其 1. 脊髄性小兒麻痺患者ニ於ケル椎弓切除後胎障碍檢討 (日本整形外科学會雜誌第 13 卷第 9 號ニ発表セリ)

友 保 誠 君

主 論 文

脾液性腹膜炎ノ血液所見ニ及ボス影響 (實驗的研究)

附 脾臟囊腫内容液ノ血液所見ニ及ボス影響 (本誌第 51 年第 3 號ニ発表セリ)

参考論文

1. 脾臟囊腫ニ就テ (本誌第 50 年第 12 號ニ発表セリ)
2. 脊椎破裂位ニ腦「ヘルニア」ニ就テ (日本外科学會雜誌第 38 回第 5 號ニ発表セリ)
3. 所謂「エンテロテラトーム」ヲ有スル患者ニシテメツケル氏憩室ニヨリ「イレウス」ヲ起セル 1 例 (日本臨牀外科学會雜誌第 2 回第 6 號ニ発表セリ)
4. 腸間膜ニ原發セル海綿様淋巴管腫ノ 1 治驗例 (臨牀新誌「外科」第 1 卷第 4 號ニ発表セリ)

東 貞 雄 君

主 論 文

眼内液流路ニ關シ X 線造影法應用ニ依ル實驗的研究

其 1. 前房水吸收路ニ關シ X 線造影法應用ニ依ル實驗的研究

第 1 報 「トロトラスト」前房内注入ニヨル輪狀影像ニ果シテシユレム氏管ナリヤ (日本眼科学會雜誌第 42 卷第 7 號ニ発表セリ)

其 2. 同上

第 2 報 病的狀態ニ於ケル「トロトラスト」ノ吸收ニ就テ (追テ日本眼科学會雜誌ニ発表ノ豫定)

其 3. 同上

第 3 報 虹彩ヨリノ吸收ニ就テ 附. 水眼ニ於ケル前房水吸收ニ就テ (追テ日本眼科学會雜誌ニ発表ノ豫定)

其 4. 硝子體液排出路ニ關シ X 線造影法應用

ニ依ル實驗的研究 (追テ日本眼科学會雜誌ニ発表ノ豫定)

参考論文

其 1. 興味アル經過ヲ採レル片側性絕對瞳孔強直症ノ 2 例 (實驗眼科雜誌第 193 號ニ発表セリ)

其 2. 1 眼ノミニ來レル網膜色素變性症ノ 1 例 (中央眼科醫報第 31 卷第 2 號ニ発表セリ)

其 3. 糖尿病患者ニ來レル慢性酒精中毒毒視ニ虹彩炎ヲ伴ヒシ 1 例 (中央眼科醫報第 31 卷第 4 號ニ発表セリ)

其 4. 淚腺混合腫瘍ノ 1 例 (中央眼科醫報第 31 卷第 7 號ニ発表セリ)

其 5. 眼結核ノ病理組織學的所見ニ就テ 第 1 報

第 1 篇 淚腺結核

第 2 篇 眼結膜結核 (梶浦陸雄共著) (追テ日本眼科学會雜誌ニ発表ノ豫定)

◎滿洲錦州市通信

滿洲赤十字社錦州市病院在勤の篠原一幸君より次の通信ありたり

(前略) 當地の住宅難は想像以上で私も止む無く至極狭い家で我慢致して居ます荷物も専門家にやらしましたが可なり傷みました今後渡滿なさる方がありましたら住宅の間敷、疊敷を閉合せそれに由て荷物を手加減なさるやう御注意してあげて下さい (中略) 滿洲赤十字社の新病院は醫者、看護婦を必要といたして居ますが待遇が他に比べて悪い爲めか仲々人がありません、當院も來年度には眼科、耳鼻科、皮泌尿科が新設されますが岡山の卒業生で多少待遇が悪くても醫長の席を取る爲め來られると好いのです (後略)